

## 平成30年度 優先・重点分野の主な事業について（子ども施策関連）

※「平成30年度 当初予算案の大綱」

## 予算編成の基本的な考え方

我が国の経済情勢は、雇用・所得環境が改善し、全国で経済の好循環が着実に回り始めており、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるものの、緩やかな回復が続くことが期待されています。

このような中、本市におきましても、市税収入は安定的に推移しており、新年度も引き続き900億円台を確保できる見込みであることから、地域経済の好循環を一時的なものに終わらせることなく、更なる拡大につなげていく必要があります。また、本市の総人口は、間もなく減少に転じ、年少人口や生産年齢人口の割合が減少する一方、老年人口の割合が増加し、少子高齢化がさらに進行していくことが確実であり、昨年は、死亡数が出生数を上回る自然減に転じたことや、若年層を中心に東京圏への転出超過の傾向が続いていることなどから、人口の自然増や社会増を促進するための取組がなお一層求められています。

こうした社会環境や人口構造の変化に的確に対応し、持続的に発展できるまちづくりを推進していくためには、「宇都宮市人口ビジョン」や「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえて策定している「第6次総合計画」に基づき、人や企業から選ばれる高い都市力を備え、将来にわたる成長力を確保できるよう、「未来への投資」を今こそ実行していく必要があります。

併せて、より一層の「施策・事業の優先化・重点化」、「財源の確保」、中長期を見据えた「行財政改革の徹底」を図り、「持続可能な財政構造の確立」に努めていく必要があります。

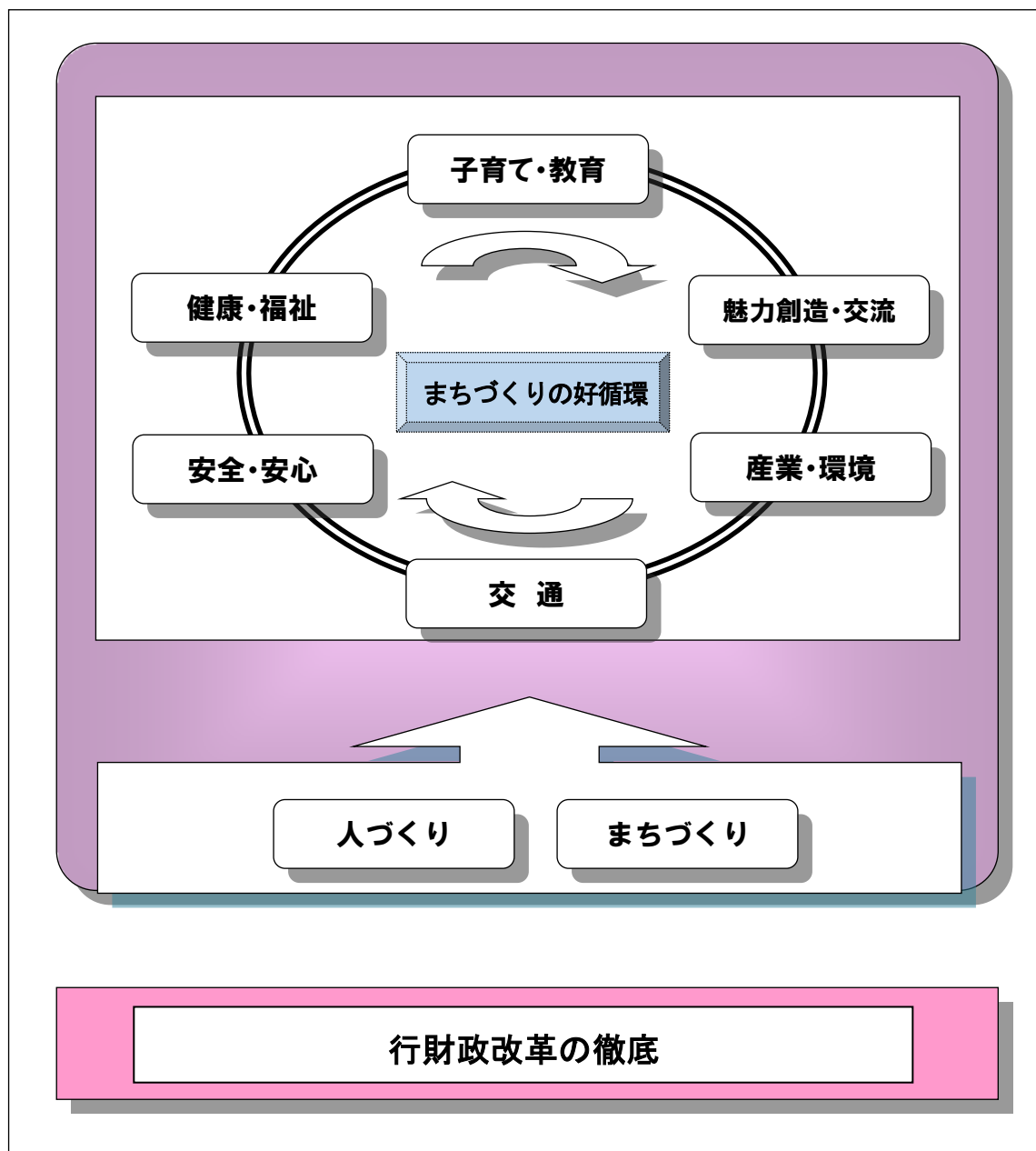
このため、平成30年度の予算編成に当たりましては、すべての市民が安心して出産・子育てができる環境と次世代の人づくりが充実した「子育て・教育の未来都市」や、誰もが健やかで生きがいを持って自立した生活を送ることができる「健康・福祉の未来都市」、魅力ある都市空間の創造と総合的な交通ネットワークが構築された「交通未来都市」など、6つの「未来都市」の実現に資する施策・事業に優先化・重点化を図るとともに、「人づくり」と「まちづくり」を一体的に進めることで、「まちづくりの好循環」をより一層創出していくことといたしました。

また、これらの取組に合わせ、自主財源の積極的な確保や、行政経営資源配分の最適化等による行政経営基盤の強化、公有財産マネジメントの推進など、「行財政改革の徹底」を図ることとしました。

平成30年度当初予算は、「第6次総合計画」の初年度の予算となりますことから、これまで培ってきた財政力を発揮し、計画に掲げた「未来都市」の実現に向けた確かな一歩となるよう、全力で取り組んでまいります。

■ 当初予算のイメージ

「子育て・教育」、「健康・福祉」、「安全・安心」、「魅力創造・交流」、  
「産業・環境」、「交通」の6つの未来都市の実現に資する施策・事業に  
優先的・重点的に取り組むとともに、  
「人づくり」と「まちづくり」を一体的に進めることで、  
「まちづくりの好循環」をなお一層創出する予算



## 優先・重点分野の主な事業

### ■ 子育て・教育の未来都市

#### 【子育て分野】

##### 1 結婚・妊娠・出産の希望をかなえる支援

###### ○ 結婚の希望をかなえる支援

9,900 千円

- ・ (拡) 家族観や結婚観を醸成するための啓発事業の実施  
DVDを活用した中学生への意識啓発の実施
- ・ 若者の交流・出会いの場の創出  
「とちぎ結婚支援センター」を県と共同で運営

###### ○ 妊娠・出産の希望をかなえる支援

763,855 千円

- ・ (拡) 不妊治療費の助成  
助成額を拡充 初回 30 万円→45 万円, 2 回目以降 25 万円→30 万円
- ・ 妊産婦医療費の助成, 妊婦健康診査の実施

##### 2 子育て環境の充実

###### ○ 教育・保育施設等の供給体制の確保

17,103,864 千円

- ・ 供給体制の確保  
認定こども園の整備や保育所の増改築等費用の助成 5 施設 定員 114 人  
地域型保育事業の整備費用の助成 2 施設 定員 38 人  
保育所等の受入児童数増員への助成
- ・ 保育士等の確保・育成  
「とちぎ保育士・保育所支援センター」を県と共同で運営  
保育士等の処遇改善に向けた支援  
保育所等の事務効率化を推進するための I C T 化への助成
- ・ 幼稚園, 認定こども園, 保育所等への給付・助成

###### ○ 教育・保育施設等における安全対策の強化

4,560 千円

- ・ 専任の指導員による日常的な巡回指導等の実施

###### ○ 宮っ子ステーション事業の推進

1,092,750 千円

- ・ 子どもの家の整備  
(新) 豊郷北小学校, 築瀬小学校, 昭和小学校
- ・ 運営体制の強化  
(拡) 指導員確保のための広告費を運営費に上乗せ (H29 年 11 月～一部実施)
- ・ 子どもの家等に入所する生活困窮世帯児童の保護者負担金の一部を助成

### 3 子育て支援の充実

- **こども医療費の助成** 2,260,872 千円
  - ・ 中学3年生まで現物給付
- **多子世帯への支援** 812,276 千円
  - ・ 第3子以降の保育料無償化
  - ・ 第3子以降の一時預かり事業等の利用料の無償化
- **生活困窮世帯への支援** 1,162,938 千円
  - ・ 保育料等の軽減 低所得世帯等の第1子半額又は無償化, 第2子以降無償化
  - ・ 子どもの家等に入所する生活困窮世帯児童の保護者負担金の一部を助成〔再掲〕
  - ・ 小・中学生への就学援助費の支給
- **児童扶養手当の支給** 1,980,123 千円
  - ・ (拡) 児童扶養手当の全部支給所得制限限度額を引上げ  
扶養者1人の場合 年収130万円→160万円
- **幼稚園就園児保護者の負担軽減** 580,823 千円
  - ・ (拡) 幼稚園就園奨励費補助金の補助限度額を引き上げ  
年収360万円未満相当世帯 園児1人目 48,000円増, 園児2人目 24,000円増
- **子育て相談事業の実施** 93,937 千円
  - ・ 「子育て世代包括支援センター」の運営 市内5箇所  
妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対し, 総合的な相談支援を実施
  - ・ こんにちは赤ちゃん事業, 子育てサロン事業の実施
- **産後ケア事業の実施** 60,164 千円
  - ・ 産婦健康診査時に「産後うつ検査」を実施
  - ・ 産後うつの疑いのある産婦に宿泊型, 通所・訪問型のケア事業を実施
- **児童虐待防止対策の推進** 16,125 千円
  - ・ (拡) 養育放棄等の状況にある要支援児童を対象に, 基本的な生活習慣の習得や学習などの支援を行う団体等への助成を拡充 1施設→2施設